

序 文

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会（水コン協 AWSCJ）は、昭和 56 年に発足し、昭和 60 年に社団法人化し、平成 30 年 4 月には公益社団法人となりました。当協会の目的は「上下水道に係わるコンサルタントの資質向上と育成を図り、もって上下水道の発展と持続に貢献する」ことです。人材育成と上下水道を通じた社会貢献が当協会のミッションとなっています。

平成 27 年には新ビジョン「AWSCJ Vision 2015-2025」を策定し、そのコンセプトとして「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」を掲げました。建設の時代から維持管理の時代への移行及び「官から民へ」という時代の要請に、積極的に応えていくこととしました。

これを踏まえて、平成 30 年に第二期中期行動計画を策定し 10 の主要行動を定めました。主要行動は、①地域社会への貢献、②業務領域の拡大、③災害時対策の拡充、④官民連携の推進、⑤デジタル化への対応、⑥経営基盤強化、⑦働き方改革、⑧多様な業界連携、⑨技術開発、⑩国際貢献であり、そのコンセプトは「新しい時代に魅力あるコンサルタントをつくる」です。上下水道事業の課題に的確に対応すること及びコンサルタントとして新しい時代を切り拓いていくことを目指しています。

今日の上下水道事業は、人口減少や職員減少、施設の老朽化、災害の甚大化などの課題に直面しており、持続可能な事業構築、ライフサイクルを通じたマネジメントの確立、防災・減災計画の再構築が求められています。総合的かつ戦略的な事業計画、デジタル技術の導入、運用支援が必要であり、コンサルタントの役割と責任は一段と大きくなっていると考えます。同時にコンサルタント自身の資質向上と育成がかつてなく重要になっていると考えます。

当協会では、昭和 61 年度から毎年、会員による技術研究成果を技術・研修委員会を中心にとりまとめてきましたが、今回、令和元年度技術報告集（第 34 号）を発行する運びとなりました。今後も上下水道をとりまく諸課題への対応を着実に進めるため、資質向上と人材育成そして技術開発の促進を目的として、技術報告集及びその発表の場である技術研究発表会の充実に努めてまいる所存です。

引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和 2 年 3 月

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
会 長 村上 雅亮